

令和2年度 スタダードリスト

◎本リストは、「学都いしかわグローバル人材育成プログラム」の対象となる授業科目・講座・個別プログラムの令和2年度の一覧表である。平成26～令和元年度については、それぞれの年度版を参照のこと。

◎本プログラムはポイント獲得で修了証に至るしくみである。本リストには、対象授業科目等のポイント数が示されている。ポイントは原則実稼働時間10時間で1である(授業科目は1単位につき1.5ポイント、現地実習は原則1.5日で1ポイント)。これを参考に、本プログラム各ステップの修了を目指してもらいたい。

◎本リストは、大学コンソーシアム石川に加盟する県内全高等教育機関の学生にオープンにされているもの、及び県内高等教育機関に共通して存在するもので構成されている。ただし、趣旨に合致するものであれば、各高等教育機関の学生のみが受講できる授業科目(教養・専門・大学院の別を問わない)・講座・個別プログラムであっても、本プログラムの修了証申請時に各ステップ各ブロックの対象科目と見なすことができる。趣旨に合致していることが確認できた各高等教育機関の授業科目等については、大学コンソーシアム石川及び「学都いしかわ・グローバル人材育成システムの構築」のHP上で別途、「読み替えリスト」として公表する。

◎本リストには予定のもの・仮称のものも含まれるため、随時更新していく。更新されたリストについては、大学コンソーシアム石川及び「学都いしかわ・グローバル人材育成システムの構築」のHP上で公表する。

ステップ1 (基礎)

◎基礎スキル 趣旨：フィールドワークの基本スキルの獲得 (このブロックのポイントは必修ではない)

区分	授業科目名(単位数)・講座名・個別プログラム名	開講時期・募集時期	実施主体 (連携自治体・団体)	ポイント数
シティカレッジ 開講科目	課題演習Ⅰ(「能登・祭りの環」プロジェクト) (2単位)	前期・集中 (中止)	金沢星稜大学	3

◎第1ブロック 趣旨：石川への理解を深める

区分	授業科目名(単位数)・講座名・個別プログラム名	開講時期・募集時期 (予定)	実施主体 (連携自治体・団体)	ポイント数 (予定数)
シティカレッジ 開講科目	石川県の市町(2単位)	前期 (後期)	金沢大学 (石川県)	3
	石川県の行政—いしかわの行政が目指すもの—(2単位)	後期	金沢大学 (石川県)	3
	金沢の歴史と文化—金沢市内の文化施設とその役割—(2単位)	後期 (中止)	金沢大学 (金沢市)	3
	麴の科学(2単位)	前期 (中止)	金沢工業大学 (機関開講)	3
個別プログラム	いしかわで学ぶ未来可能性(地域創生概論)*1		金沢大学ほか	1.5

*1:「いしかわで学ぶ未来可能性(地域創生概論)」は県内の高等教育機関に所属する学生ならば誰でも学べるインターネット教材です(<https://www.fisd.com/F00000139/>)。登録をして受講し修了証を獲得してください。また、大学によってはこれを授業の一環として組み込んでいる場合があります。その場合は、各大学のその他の内容の学習時間と合せてポイントを決めます。たとえば、金沢大学の「地域概論」の場合は8回分の授業とセットになっているので、合せて3ポイントとします。

◎第2ブロック 趣旨：企業・地域などについて学び、フィールド教育によって行動力を養う

太字は 実際に地域に入って実習を行う「ステップ2（行動力発展）対象科目」となるもの

区分	授業科目名（単位数）・講座名・個別プログラム名	開講時期・募集時期（予定）	実施主体（連携自治体・団体）	ポイント数
シティカレッジ 開講科目	里山里海体験実習in 能登半島（1単位）	前期・集中 (中止)	金沢大学	1.5
	アントレプレナーシップI（1単位）	前期 (後期)	金沢大学 (機関開講)	1.5
	実践アントレプレナー学（1単位）	後期・集中	金沢大学 (機関開講)	1.5
	世界農業遺産「能登の里山里海」とSDGsを考察するスタディ・ツアー（1単位）	前期・集中 (中止)	金沢大学 (能登キャンパス 構想推進協議会)	1.5
	ゼミ/角間の里山づくり 春編（1単位）	前期 (中止)	金沢大学 (機関開講)	1.5
	ゼミ/角間の里山づくり 秋編（1単位）	後期	金沢大学 (機関開講)	1.5
個別プログラム	地域防犯推進プロジェクト～地域安全マップづくり		北陸大学	3
	「能登・祭りの環」インターンシップ*3		能登キャンパス 構想推進協議会	実稼働時間 によってポ イント数が 異なる
各高等教育 機関で実施 されるもの	インターンシップ（事前・事後研修・報告会があるもの、及び単位になっているもの）	単位認定の如何や募集時期などの 詳細は各高等教育機関によって異 なる。		実稼働時間 によっ てポ イント 数が異 なる
	インターンシップ（事前・事後研修・報告会がないもの）			
	「地域課題研究ゼミナール」採択ゼミ			
	★「地域課題研究ゼミナール」不採択ゼミ・プロジェクト（地域に入っの実習とプレゼンが確認できるもの）			

・★印は、修了証の申請時に、受講した内容のわかる資料（シラバス、プログラム、ガイダンス資料など）を提出し、審査委員会による審査を受ける必要がある。

・ステップ2対象科目・個別プログラムは本来はポイント数3以上で、事後の報告会を必要とするが、3ポイント以下であっても複数の授業・個別プログラムに参加することで、同等の力がつくと思われものもゴシック太字にしてある。ただし、これらの授業・プログラムで事後の報告会が行われていない場合は、別途審査委員会の側で報告会を設定し、審査の対象にする。

*3：「「能登・祭りの環」インターンシップ」には、当日インターンシップ、短期インターンシップ、長期インターンシップの3種があり、いずれも原則、1日0.5ポイント×参加日数、最大6ポイント、とする。

・個別プログラムのいくつかは実施高等教育機関で単位になるものがある。詳細は随時わかり次第追加していく。

◎第3ブロック 趣旨：国際力（異文化理解・グローバル思考・外国語コミュニケーション等）の基礎を養う

区分	授業科目名（単位数）・講座名・個別プログラム名	開講時期・募集時期（予定）	実施主体（連携自治体・団体等）	ポイント数
シティカレッジ 開講科目	グローバル時代の社会学（1単位）	前期	金沢大学 （機関開講）	1.5
	グローバル時代の文学（1単位）	後期 （中止）	金沢大学 （機関開講）	1.5
各高等教育機関で実施されるもの	★各高等教育機関で開講している卒業要件外の中上級レベル外国語演習／講座	単位認定の如何や募集時期などの詳細は各高等教育機関によって異なる。		実稼働時間によってポイント数が異なる
	★各高等教育機関で実施している短期海外語学研修			

*4：ガイドを行った時間数に応じてポイントを付与する（最大6ポイント）が、ガイド内容によっては第2ブロック及びステップ2の対象とする。

・★印は、修了証の申請時に、受講した内容のわかる資料（シラバス、プログラム、ガイダンス資料など）を提出し、審査委員会による審査を受ける必要がある。

ステップ3（国際力実践） 趣旨：国際力を実践的に養う

区分	授業科目名（単位数）・講座名・個別プログラム名	開講時期・募集時期（予定）	実施主体（連携自治体・団体等）	ポイント数
個別プログラム	国連スタディビジット・プログラム		石川県	6
	トビタテ留学JAPAN「地域人材コース」：いしかわの明日の人材を育成する実践的留学プログラム支援事業（略称：石川プログラム）*	第12期：渡航待機	大学コンソーシアム石川	6
各高等教育機関で実施されるもの	★各高等教育機関で実施している派遣留学・私費留学	単位認定の如何や募集時期などの詳細は各高等教育機関によって異なる。		実稼働時間によってポイント数が異なる
	★各高等教育機関で実施している海外インターンシップ			

*5：トビタテ留学 JAPAN 「地域人材コース」石川プログラムは、留学準備と実践が含まれているので、これに採用されて全プログラムを修了すれば、ステップ1の第2・第3ブロックに各6ポイントを付与し、第2ステップの対象にもする。

・★印は、修了証の申請時に、受講した内容のわかる資料（シラバス、プログラム、ガイダンス資料など）を提出し、審査委員会によるを受け必要がある。

【ボランティア活動に対するポイント付与について】

学生が自主的に参加するボランティア活動にも、下記の条件①②を満たす場合には、下記のルールでポイントを付与します。

条件

①各高等教育機関で開講されるボランティア活動に関する授業科目や講座（一般を対象とした公開講座を含む）、あるいは自治体・NPOなどの講習等を受講したことがあること。（修了証審査の際に確認の問い合わせをする。）

②ボランティア活動に従事したこと、その時間数、及び従事した活動内容が証明できること。（金沢市が行っているような証明証の発行など。書式は自由。具体的な活動内容については活動記録などでもよい。）

ルール

ポイントは最大3ポイント（30時間）とし、その内容によってステップ1の第2ブロックもしくは第3ブロックに配当する。また、30時間以上の実習に相当する内容の場合は、ステップ2にも該当することとし、活動内容からポイントを第3ブロックに配当した場合でも特例としてステップ2に該当するものとする。

【一般向け公開講座のポイント付与】

各高等教育機関の地域連携センターなどでは、地域の一般の人々向けのさまざまな公開講座を開講しており、学生が参加できるものも少なくないので、「地域一般向けの公開講座」を趣旨に合致していればポイントを付与する「各高等教育機関で開講される科目・講座・個別プログラム」の「講座」の一種として扱うこととし、ポイントを付与する。ただし、「受講登録し出席回数を確認できること」が条件である。

【過去にさかのぼっての読み替え】

本プログラムには平成23年度以降に各高等教育機関で開講された授業科目（教養・専門・大学院の別を問わない）・講座・個別プログラムを含めることができる。平成26・27年度に関しては、「読み替えリスト」が作成されているが（一部高等教育機関では未作成）、それ以外でも趣旨が合致すれば含めることができる。本リストを参考に、過去に受講した授業科目等を一度みなおしてみて、もし申請が可能なようなら、申請してみてほしい。